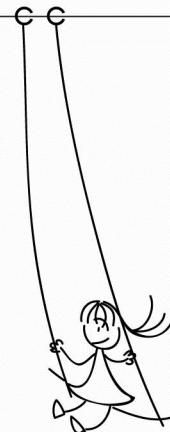


下村地区

2009年2月発行
下村地区まちづくり協議会

田園まち 通信 vol. 3



アンケートやまちあるきの結果をもとにまちの将来像を描く。

前回同様ワークショップ形式でまちの将来像を描く—— 「下村地区の未来予想図」

去る1月15日（木）、第3回協議会は前回同様ワークショップ形式で行いました。当日は地元22名、市2名、コンサルタント2名の計26名が参加しました。

まず、冒頭で、現在すすめている取り組みと田園まちづくり計画との関係を踏まえて大まかな今後の流れを確認しました。

つづいて、昨年末に実施したアンケート調査の結果をみながら意見交換を行いました。多くの参加者は概ね予想通りの結果だったと感じられたようです。

またその結果をもとに道路や公園、商業施設、市民農園などの整備の必要性について検討しました（内容は裏面参照）。

さいごに、今日の意見交換を踏まえて、まちの将来像（＝未来予想図）を描く作業を3班に分かれて実施しました。

参加者の思いは当然ながらさまざまですが、将来像はみんなが概ね同じ方向をめざしたものでなければなりません。次回の会合では、そうした合意を図るための検討を行います。



未来予想図の検討風景

ワークショップが盛り上がったかどうかは、どれだけ参加者が身を乗り出して討議しているかで分かる!?

●次回（第4回）のお知らせ●

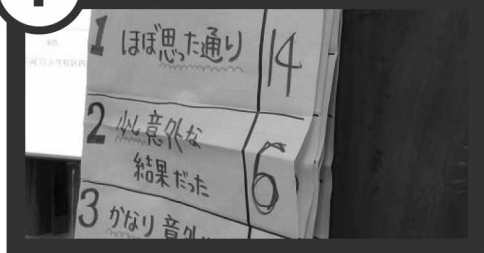
と き 2009年2月27日〔金〕
19:30～21:00（於・下村公民館）

内 容 ①第3回で検討した「未来予想図」の確認
②まちづくりの方向性と「構想図」の検討 など

役員以外の方も
参加できますので
ぜひお越しを！

まちの将来像を描く ワークショップ 当日のプログラム

1 アンケート結果をみて…



アンケートの集計結果をみた参加者の印象を訊ねてみると・・・。

2 結果をもとに意見交換



道路や公園、商業施設、市民農園などの必要性について「旗上げアンケート」方式で意見交換。

3 まちの将来像を考える



3班に分かれてまちの将来像について討議。なかなか白熱しました。

4 未来予想図をまとめる



みんなの意見を「未来予想図」にまとめました。それぞれの思いがきちんと反映されているかどうか、次回改めて確認。

次回

まちづくり
構想図の
策定へ

ワークショップ参加者の 意見・提案

道路の安全性確保について

- 集落内は狭い農道がほとんど。
- 通学路、農道など見通しが良過ぎて危険な所がある。
- 南北に通る道路すべて拡幅したい。
- 特に、朝のラッシュ時が大変。
- 南北道路の中でも小学校・駅・農村センターへ行く道が重要。
- 現在の南北道路は抜け道として利用される。歩行者に危険。
- 草谷川にかかる橋の拡張が必要。
- 東西道路の拡幅も必要。
- 主要道路の拡張と歩道の新設を実現したい。
- 道路の拡幅はできれば良いが果たして実現性は？
- 環境のために電車通勤したいのですが、駅までの道に街灯が少なすぎます。女性や子ども（学生）達はその思いが強いと思います。

商業施設の必要性について

- ファーマンの近くにスーパーができれば良い。
- 移動販売などがあればよいと思う。
- 下村地区内ではなく八幡町内にあればよい。

公園整備・景観保全の必要性について

- 北側（磯病院付近）に広めの公園を。
- 広くなくてよい。お年寄りが花を植えたりできる場所があれば。
- 街角にちょこちょこ小さい公園があれば。散歩中の休憩場所として。
- 子どもがソフトボールやサッカーをする場所。
- 今あるものより広いグラウンドがあるとよい。
- 池や桜の木がある所など既存資源を生かしたい。
- 景観保全区域を広く。里山をいかに保全するか。
- 自然を残しつつ新しい計画づくりが重要。

市民農園の必要性について

- 村以外の人に利用してほしい。下村の良さをPRする。
- 憩いの場としてあってもよい。
- 現在、センターの近くに貸し農園がある。
- 村として考える必要はないのでは。

田園まちづくりの進め方について

- 農地のワクがあり田園まちづくりと言っても意味がないように思う。
- 地道な話し合いで計画（方向性）が進んでいるような気はします。
- 短期・長期に分けた構想も必要と思う。現状で可能なものは何か考える。